

## 2015 年度 第 4 回常任理事会：議事録

日 時：2015 年 12 月 12 日(土)午前 11 時 00 分～  
13 時 20 分

場 所：東京未来大学本館 3 階 会議室 1

出席者：藤田主一理事長

伊坂裕子，角山 剛，田中真介，外島  
裕，深澤伸幸，蓮花一己（五十音順）

山本勝則（第 83 回大会委員長）

軽部幸浩（広報委員会副委員長）

事務局：宇部弘子（事務局長），福岡久美子（幹  
事），小川拓郎（幹事）（敬称略）

### I 報告事項

#### 1. 理事長挨拶（藤田主一理事長）

- ・常任理事会に出席された先生方へ感謝の言葉が述べられた。
- ・名誉会員の大村政男先生，恩田彰先生がご逝去され，哀悼の意ならびに黙禱が捧げられた。

#### 2. 各委員会報告

##### 1) 機関誌編集委員会（深澤伸幸委員長）

- ・『応用心理学研究』第 41 巻第 2 号は，12 月の中下旬には配付予定である。
- ・第 41 巻第 3 号では臨床心理学領域の特集号を予定している。
- ・電子投稿システム開始から 31 カ月経過時点で，117 本の原稿を受付し，56 本が採択され，現在審査中の原稿が 28 本である。

##### 2) 企画委員会（角山剛委員長）

- ・平成 27 年度「公開シンポジウム」は，日本応用心理学会と東京未来大学モチベーション研究所の共催とし，「応用心理学の未来～実社会との連携活動を目指して～」というテーマで開催する。

##### 3) 広報委員会（田中真介委員長）

- ・『応用心理学のクロスロード』の発行業務を，福村出版から印刷と製本を「もがみ紙工」，編集は「子どもの発達講座.net」へ委託した。
- ・目次構成表と発刊までのスケジュールの説明があった。

##### 4) 「応用心理士」認定審査委員会（外島裕委員長）

- ・委員として新たに軽部幸浩理事が加わった。
- ・後期は 12 月末の締め切りで，現在 1 名の申請がある。
- ・前期は 3 名の登録が完了した。

##### 5) 国際交流委員会（蓮花一己委員長）

- ・英文特集号への投稿は 14 件であり，そのうち不採択 3 件，11 件は審査中である。
- ・査読の審査料として QUO カード 3,000 円に決定した。

##### 6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（伊坂裕子委員長）

- ・投票率の向上にむけて，投票用紙の改善と大会校の協力が必要である。

##### 7) 学会活性・研究支援委員会（代理：宇部弘子事務局長）

- ・次回の常任理事会で，まとめて報告する予定である。

##### 8) 倫理委員会（代理：宇部弘子事務局長）

- ・特になし。

##### 3. 日本心理学諸学会連合について（代理：藤田主一理事長）

- ・「公認心理師教育カリキュラム案」について報告があった。

##### 4. 心理学検定について（代理：藤田主一理事長）

- ・「心理学検定」は，全国検定振興機構に加盟している。
- ・12 月 9 日に文部科学省・全国検定振興機構主催の研修会が実施された。

- ・日本心理学諸学会連合の法人化に伴い，運営体制が変化する可能性がある。

##### 5. 2015 年度第 82 回大会について（角山剛大会委員長）

- ・第 82 回大会が無事に終了したとの報告があり，感謝の言葉が述べられた。
- ・昨年と比較して，多くの参加・発表があった。

##### 6. 2016 年度第 83 回大会について（山本勝則大会委員長）

- ・現在，会場がほぼ確定している。
- ・発表の形式は，ポスター発表のみを予定している。
- ・発表原稿は，査読する予定である。

- ・現在、「シミュレーション」について話していただける講師を検討中である。

## 7. 国際文献社との契約について（藤田主一理事長）

- ・各常任理事に、国際文献社との契約書を配布し、確認および検討事項の有無を指摘していただくように依頼した。

## 8. ホームページのサーバー変更について（軽部幸浩副委員長）

- ・サーバー変更が完了し、性能も向上した。

## 9. その他（藤田主一理事長）

- ・『現代社会と応用心理学』の全7巻が完成し、本日の公開シンポジウム時に販売される。

## II 審議事項

### 1. 優秀大会発表賞選考の件（伊坂裕子委員長）

- ・第82回大会優秀大会発表賞（口頭発表、ポスター発表）の審査方針が説明された後、各部門の候補が推薦され、審議の結果承認された。

### 【口頭発表】

『魅力を高めるためにスキルは必要？—初対面異性ペアによる検討—』

仲嶺 真（筑波大学大学院人間総合科学研究科）  
相羽美幸（東洋学園大学人間科学部）

### 【ポスター発表】

#### 【第1部門】 原理・認知・感情

『着装基準尺度の作成の試み—20代を対象とした場合—』

松原詩緒（文化学園大学現代文化学部応用健康心理学科）

#### 【第2部門】 教育・発達・人格

『手は口ほどにものを言う—手指把握制御機能測定装置（握り圧計）を用いた乳幼児期の発達診断と療育相談の可能性—』

田中真介（京都大学大学院人間・環境学研究科）・横井川美佳（京都市児童療育センターなないろ）・清水依子（神戸市立有野北中学校）

#### 【第3部門】 臨床・福祉・相談

該当なし。

#### 【第4部門】 健康・スポーツ・看護・医療

『看護師コンピテンスを規定する要因の探索的検討—看護師コンピテンス尺度を用いた現場看護師の調査—』

有吉照子（社会福祉法人三井記念病院）

#### 【第5部門】 犯罪・社会・文化

『自動車に対する悪戯傷の検討1—実験による加害行動の分析—』（一連発表）

遠入 孝（PIF研究会）・阿部光弘（三井住友海上火災保険株式会社）・桐生正幸（東洋大学）

『自動車に対する悪戯傷の検討2—聞き取り調査による動機の検討—』（一連発表）

阿部光弘（三井住友海上火災保険株式会社）・遠入 孝（PIF研究会）・桐生正幸（東洋大学）

#### 【第6部門】 産業・交通・災害

『友人の同乗による心理的影響の規定因に関する研究』

今井靖雄（帝塚山大学大学院心理科学研究科）・蓮花一己（帝塚山大学心理学部）

### 2. 齊藤勇記念出版賞の件（藤田主一理事長）

- ・委員長である谷口泰富副理事長が、現在委員を選考している。

### 3. 機関誌、大会発表論文集の電子化・公開の件（軽部幸浩副委員長）

- ・機関誌『応用心理学研究』ならびに『大会発表論文集』の電子化に向けて、科学技術情報発信・流通総合システム (J-STAGE) について検討中である。

### 4. 日心連からの「カリキュラム案」賛同依頼の件（藤田主一理事長）

- ・「公認心理師教育カリキュラム案」の賛同の旨を、日本応用心理学会ホームページに表明することが承認された。

### 5. 日本心理研修センターからの寄付要請の件（藤田主一理事長）

- ・寄付金額について、他学会と足並みをそろえて決定することが承認された。

### 6. トランクルーム賃借の件（藤田主一理事長）

- ・現在、国際文献社に預けている学会関係の荷物は、来年の4月から有料になるとの通知があり、また複数の大学に保管を依頼している荷物があることから、学会として保管用のトランクルームが必要である旨の説明があった。審議の結果、賃借することが承認され、事務局で物件を探すことが一任された。

### 7. 入会審査の方法の件（藤田主一理事長）

- ・推薦者の名前を記載せずに入会手続きをする方がいることから、入会のための手続き文書

に、①推薦者の名前を記載すること、②推薦者がいない場合は理由を書くこと、を追記することが承認された。

- ・入会手続きについて、国際文献社から従来の手続きと、オンライン入会による手続きの2点が提案され、今後検討することになった。
- 8. 学会法人化の件（藤田主一理事長）
- ・国際文献社の担当者とは相談し、法人化について検討していくことになった。
- 9. 新入会員審査および会員異動に関する件（宇部弘子事務局長）

・2015年8月28日現在の会員数は、一般会員1,126名、院生会員75名、学生会員4名、名誉会員33名、終身会員41名、賛助会員2名である。

・5名の一般会員入会の申請があり、4名が承認された。前回、保留となっていた一般会員入会の申請者1名が承認された。

雨宮俊彦、赤坂隆宏、佐藤聖一、友永 武、森主宜延（敬称略）

＊次回の常任理事会は、2016年3月27日（日）に日本体育大学で開催する。